

株式会社アーレスティ

経営方針説明会

2013年6月20日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ◆ 当社製品のご紹介
- ◆ TOPICS
- ◆ 今期の見通し
- ◆ 中期経営計画(2013－2015年度)

当社製品搭載車

◆ 日産

アルティマ
シーマ
マーチ
フーガ
エルグランド
ムラーノ
セレナ
GT-R
スカイライン
パスファインダー
シルフィ
ティアナ
DAYZ 他

◆ SUBARU

レガシー
レガシーアウトバック
インプレッサ
エクシーガ
フォレスター
トレジア
XV 他

◆ 三菱自動車

ギャランフォルティス
アイ
デリカD:5
RVR
アウトランダー
ランサーエボリューションX
ekワゴン 他

◆ ホンダ

フィット
(HV・EV車含む)
CR-V
エリシオン
フリード
インサイト
CR-Z
ステップワゴン
アコード
N BOX
N-ONE
プリオ 他

◆ アクア

RDX
MDX 他

◆ SUZUKI

MRワゴン
パレット
アルト
キザシ
ワゴンR
スイフト
SX4
スペーシア 他

◆ レクサス

LFA
ISF
HS250
RX450h
LS600h
IS 他

◆ TOYOTA

エティオス
ヴィッツ
ラクティス
マークX
ヴァンガード
センチュリー
IQ
ランドクルーザー
タンドラ
エスティマハイブリッド
ベルファイア
RAV4
SAI
ハリアー
パッソ
クラウン(HV車含む) 他

◆ ダイハツ

アトレー
ハイゼット
ミラ 他

◆ 日野自動車

デュトロ(HV車含む)
レンジャー
プロフィア 他

◆ クライスラー

グランドチェロキー

◆ フォード

フィエスタ
フォーカス

◆ GM

シボレーシルバード
GMC シエラ

◆ メルセデスベンツ

Mクラス
(HV車含む) 他



TOPICS

■ 2012年

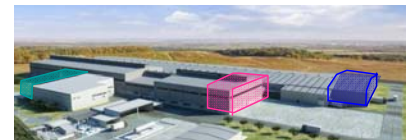
- 4月 合肥アーレスティ加工工場完成
- 5月 広州アーレスティ隣接地での工場建設第1期工事着工
- 6月 アーレスティメヒカーナ金型工場拡張工事着工
- 10月 アーレスティメヒカーナ鑄造、加工工場拡張工事竣工
- 12月 合肥アーレスティ拡張工事着工
隣接預留地20,500㎡を取得

■ 2013年

- 1月 アーレスティメヒカーナ金型工場拡張工事竣工
- 3月 旧浜松工場の旧豊橋工場へ(東海工場)の集約完了
- 4月 広州アーレスティ隣接地での工場建設第1期工事竣工
アーレスティウイلمントン増築工事着工

今後の予定

- 6月 アーレスティウイلمントン増築工事竣工予定
合肥アーレスティ拡張工事竣工予定



アーレスティメヒカーナ拡張工事箇所



広州アーレスティ第1工場、
新工場の全景と拡張工事箇所



合肥アーレスティ拡張工事箇所



アーレスティメヒカーナ工場拡張

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

■ 鑄造工場、加工工場を拡張

2012年3月着工
10月竣工

■ 金型工場を拡張

2012年6月着工
2013年1月竣工

2013年6月現在

(工場面積) 土地 100,000㎡ 建屋 32,200㎡

※内、増築面積 鑄造工場・加工工場2,600㎡、金型工場1,200㎡

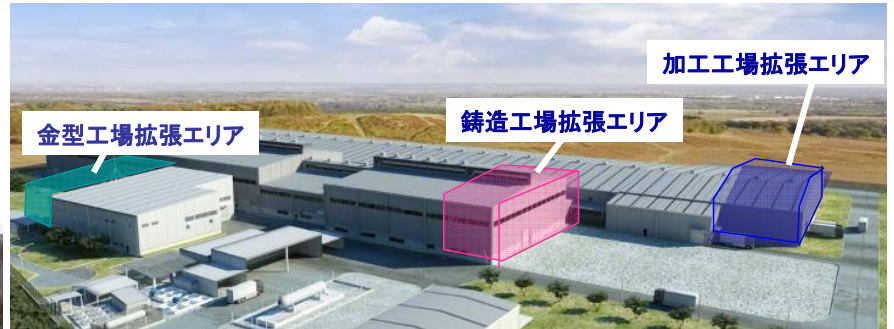
(鑄造能力) 月産 2100t(DCマシン 22台)

※内、増強能力 月産400t(DCマシン 4台)

(機械加工ライン) 25ライン



金型工場拡張エリア



拡張工事完成図



合肥アーレスティ工場拡張

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

2010年 8月 合肥アーレスティ設立

2011年 7月 稼働開始

2011年10月 第2期工事(加工工場)着工

2012年 4月 加工工場完成

2012年12月 第3期工事着工

2013年 6月末 // 竣工予定

2013年6月現在

(工場面積)

土地 50,500㎡

建屋面積 21,700㎡

(鑄造能力)月産 700t (DCマシン) 7台

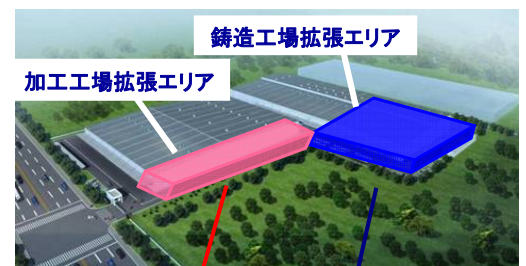
(加工ライン)11ライン

内、第3期工事 鑄造工場 4,750㎡ 加工工場 3,000㎡

増強能力月産 200t(DCマシン2台) 隣接の預留地より、20,500㎡を取得



地鎮祭の様子(2012年10月)



第3期工事箇所



広州アーレスティ新工場建設

広州阿雷斯提汽车配件有限公司

2011年に取得した隣接地へ新工場を建設



新工場工事の様子(2013年1月時点)



新工場の第1期工事竣工後の外観
(2013年5月時点)

2013年6月現在

■新工場建設第1期工事

2012年 5月新工場建設着工

2013年 4月竣工

■工場面積

第1工場

土地 43,000㎡ 建屋 26,300㎡

第2工場

土地 17,700㎡ 建屋 10,400㎡

新工場(第3工場)

土地 21,100㎡ 建屋 16,000㎡(第1期)

※12月に 第2期工事(建屋 9,010㎡)着工予定

(鑄造能力) 月産 2600t (DCマシン 31台)

(機械加工ライン) 49ライン



第1工場、新工場の全景(2013年5月時点)



広州アーレスティ隣接地の
新工場(第3工場)完成図

借りている3つの工場を
新工場に集約し物流等
の効率化を図る(既に1
つは返却済)



アーレスティウィルミントン工場拡張

Ahresty Wilmington Corp.

■工場拡張工事

2013年4月着工

6月中旬竣工予定

※倉庫、出荷準備のスペースを新たに確保し、
既存の工場内に鑄造機及び加工ラインを増設。



工場増築予定エリア

2013年6月現在

(工場面積) 土地 170,000㎡ 建屋 32,844 ㎡

※内、増築面積 建屋2,664㎡

2013年9月にかけて

(鑄造能力) 月産1,800t(DCマシン 26台) (機械加工ライン) 38ライン

※内、増強能力 月産300t(DCマシン 4台)



2014年3月期の見通し



2014年3月期業績予想

(単位: 百万円)

	2013年3月期		2014年3月期 計画		増減	
売上高	105,887	100%	119,500	100%	13,612	12.9%
営業利益	997	0.9%	2,250	1.9%	1,253	125.6%
経常利益	711	0.7%	1,500	1.3%	789	110.8%
当期純利益	△ 167	△0.2%	2,750	2.3%	2,917	-
1株当り配当金	3円		9円		6円	-

- 売上高: 国内は前期よりも更に減収を予想、一方海外は全ての拠点において受注増により増収を予想。
- 営業利益: 国内は減収を予想するも、減価償却費の減少、労務費の減少等により増益を予想、海外では主に増収に伴う増益を予想。なお、2014/3月期より減価償却方法を変更、この影響で減価償却費が従来方法に比べ約8億円減少。
- 経常利益: 予想には為替差損益は加味していない(13/3月期の為替差益は351百万円)。
- 当期利益: 旧浜松工場跡地売却による約19億円、投資有価証券の一部売却による約8億円を特別利益として織り込み。

前提為替レート: 92円/米ドル、14.5円/人民元、1.7円/インドルピー

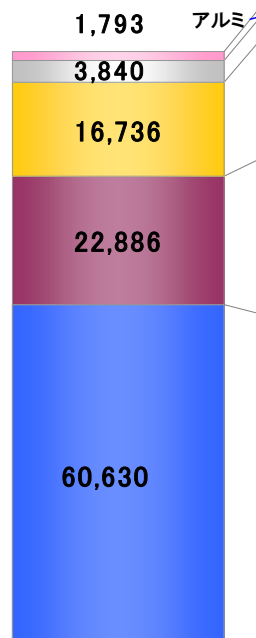
2014年3月期業績予想(セグメント)

売上高

2014年3月期(計画)

2013年3月期

105,887



119,500



営業利益

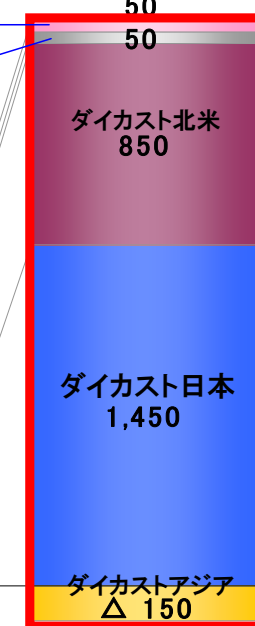
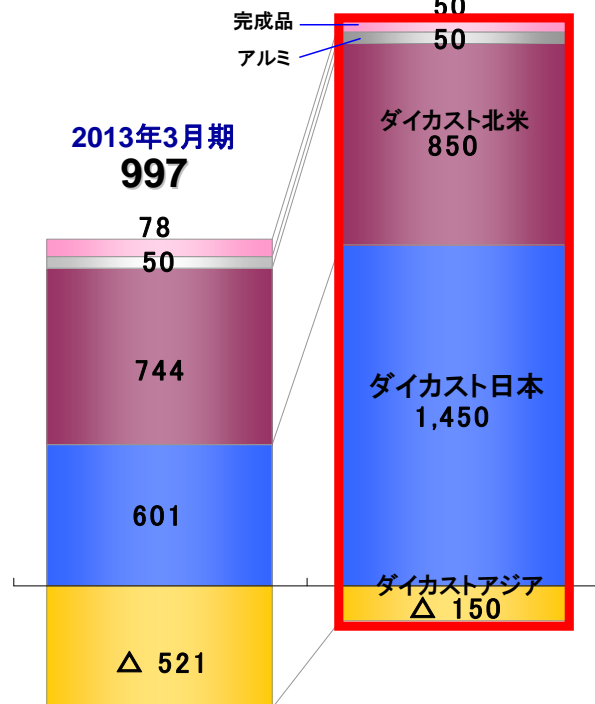
(単位:百万円)

2014年3月期(計画)

2,250

2013年3月期

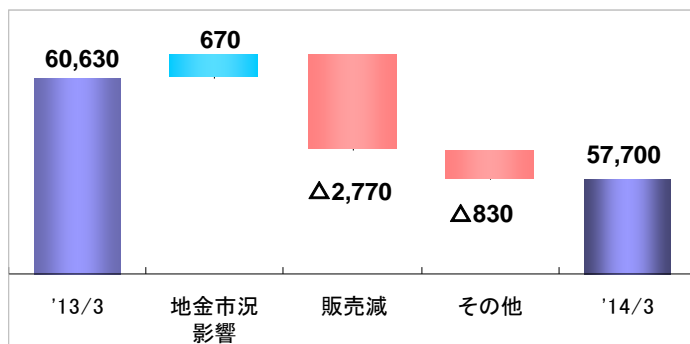
997



ダイカスト日本

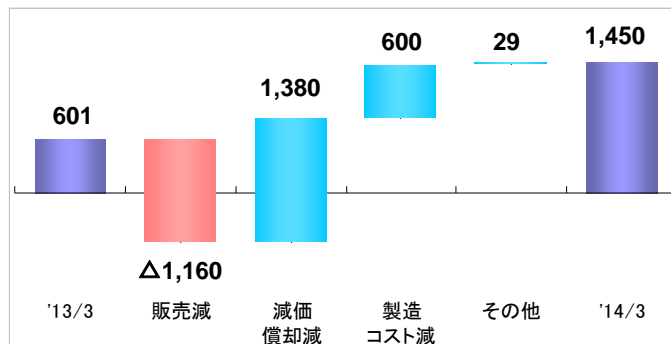
売上高増減予測

(百万円)



セグメント損益増予測

(百万円)

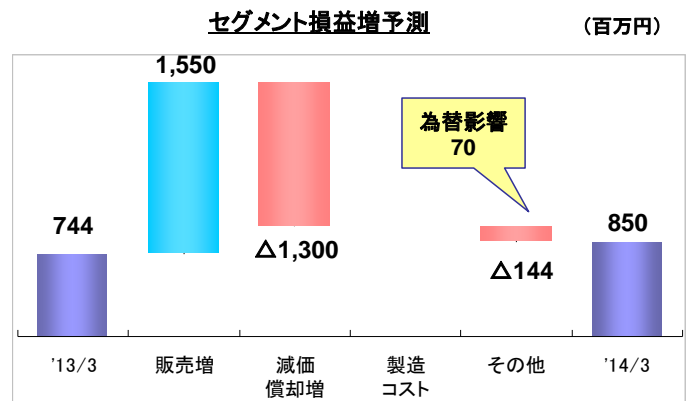
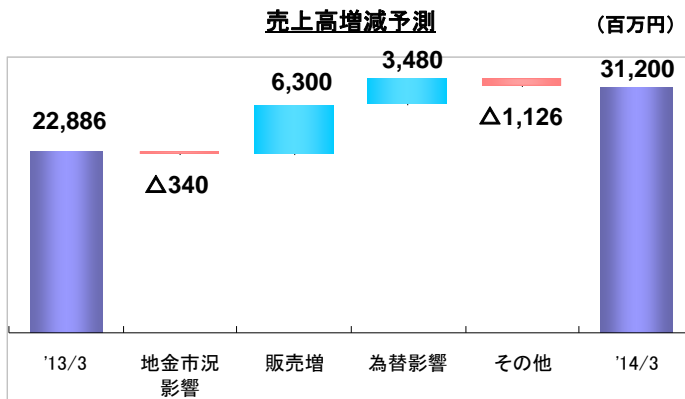


国内ダイカスト需要は減少するものと想定。基本は顧客からの情報をベースに売上高を予想。

各国内工場では、売上減少に対応した収益改善施策を計画。なお、東海工場の集約・再編については、13/3月末で旧浜松工場での生産を終了しているものの、残存設備の移設・売却等が残っており、集約の効果が具体化するのには2Q以降。



ダイカスト北米

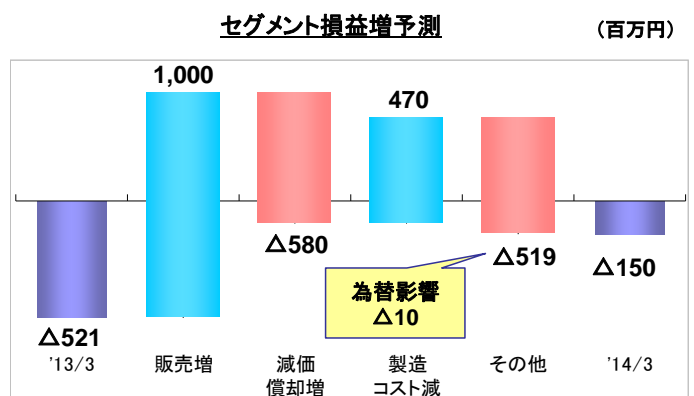
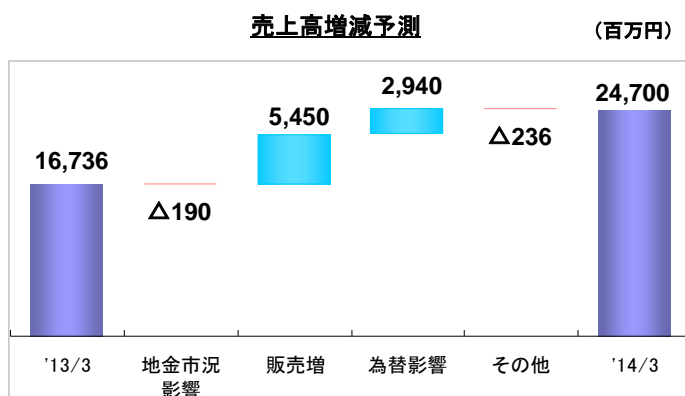


アメリカ、メキシコともに、新規製品の立上げ、又は既存製品の増産により、売上高が増加することを見込む。基本は顧客の情報に基づき売上高を予想。

増収による増益効果があるものの、減価償却費の増加(減価償却方法変更の影響含む)の影響が大きく、利益は微増を計画。



ダイカストアジア



中国及びインドともに、新規製品の立上げ、又は既存製品の増産により、売上高が増加することを見込む。基本は顧客の情報に基づき売上高を予想。

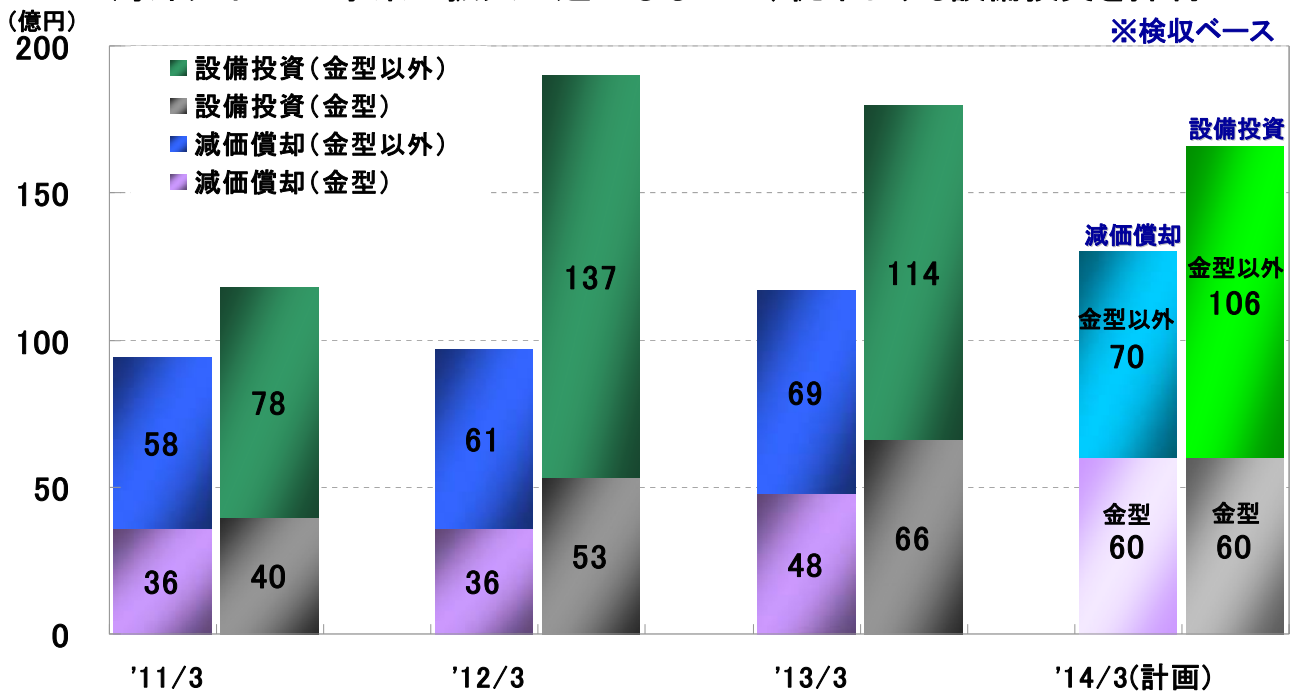
中国では、増収による増益効果があるものの、減価償却費の増加(減価償却方法変更の影響含む)の影響、及びロイヤルティ料率変更の影響が大きく、利益は減少。

インドでは増収による増益効果及び減価償却費の減少(減価償却方法変更の影響含む)、製造コスト削減により、セグメント損失は減少。



設備投資・減価償却の動向

◆海外ダイカスト事業の拡大は進めるものの、従来よりも設備投資を抑制



※14/3期より、グローバル化の進展を契機に有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法(金型に関しては生産高比例法等)に変更、並びに耐用年数を使用実態にあわせて変更。これにより従来方法に比べて減価償却費が約8億円減少。



中期経営計画(2013—2015年度)



1012中期計画の振り返り

中期経営計画2010-2012年度

項目	実施事項	結果	備考
ものづくりの品質基盤強化	管理技術・固有技術を高める施策と品質不具合の真因追究による源流対策の展開	△	品質システム・顧客満足度・生産性の向上に関して一定の成果が得られた。更なる改善が必要
プロフェッショナル人材の育成	品質教育を始めとした部門別能力クラス別専門教育の再構築と実施、マネジメント・エキスパートの育成、アーレスティウェイの浸透	○	専門教育体系等の基盤整備を完了し、体系に沿った人材育成を実施
グローバル経営システムの構築と展開と周知	グローバル業務標準、技術標準の整備と周知	○	グローバル標準の整備を中心に経営・営業・製造機能の基盤強化の施策を進め、主要な標準類の整備を完了
リスクマネジメント	BCM(事業継続マネジメント)、BCP(事業継続計画)	○	BCMを構築、BCPを策定し推進

今後の課題： 更なる「ものづくり」の追求と、グローバル需要拡大と国内需要縮小という環境を見据えた効率的な生産体制の確立



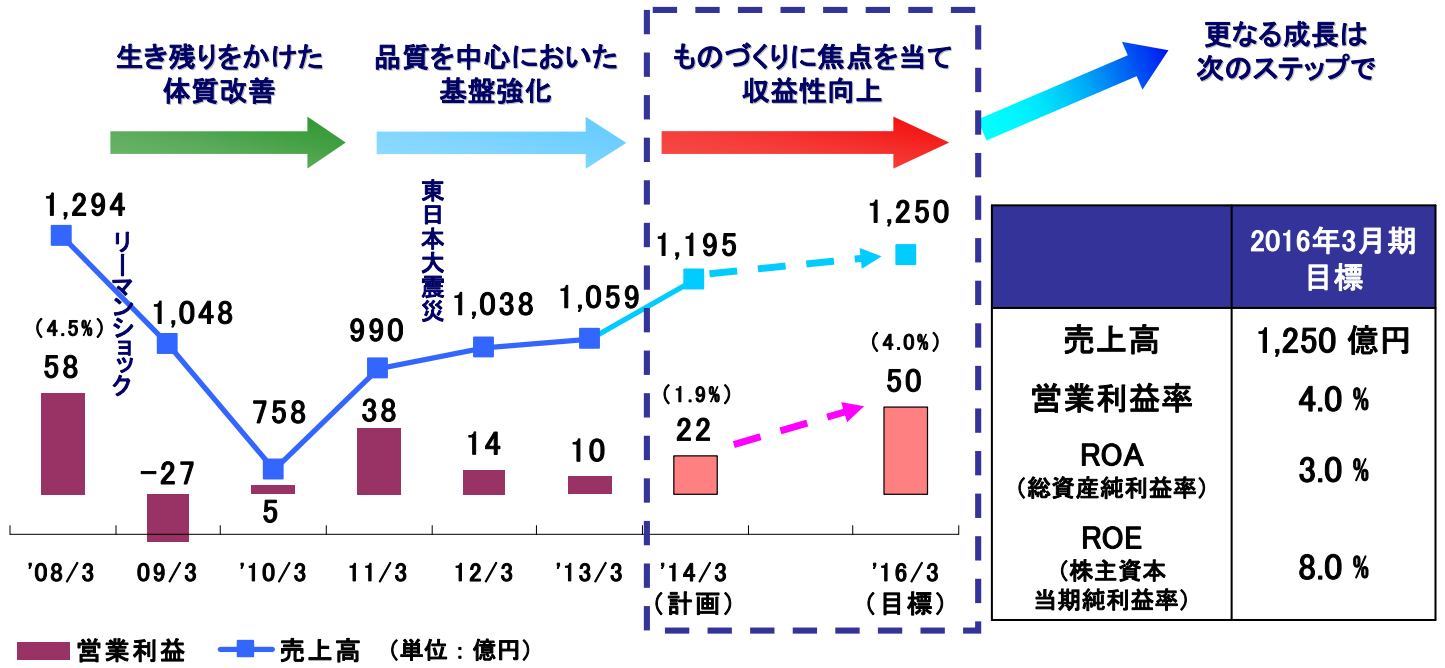
1315中期計画

中期経営計画2013-2015年度

項目	実施事項
最善なものづくりの追求と共有	現場と設計が一体となったものづくりの再構築、全拠点で同一の品質・生産性の実現、生産性の向上等の施策を展開
ものづくりの現場で活かす技術開発	ものづくりを究めるための技術ロードマップにもとづく施策、パワートレイン以外の市場の開拓等の施策を展開
ものづくりを支える人づくり	実践に裏づけされたスキルを持つ人づくり、3現・2原に基づいた活動ができる技術者の育成等の施策を展開
健全な利益追求	収益力向上による持続的な企業成長と成長市場への展開、業務の効率化、投資効率の高い加工設備構想の実現、工程別・課別コストの見える化による収益管理レベルの向上等の施策を展開



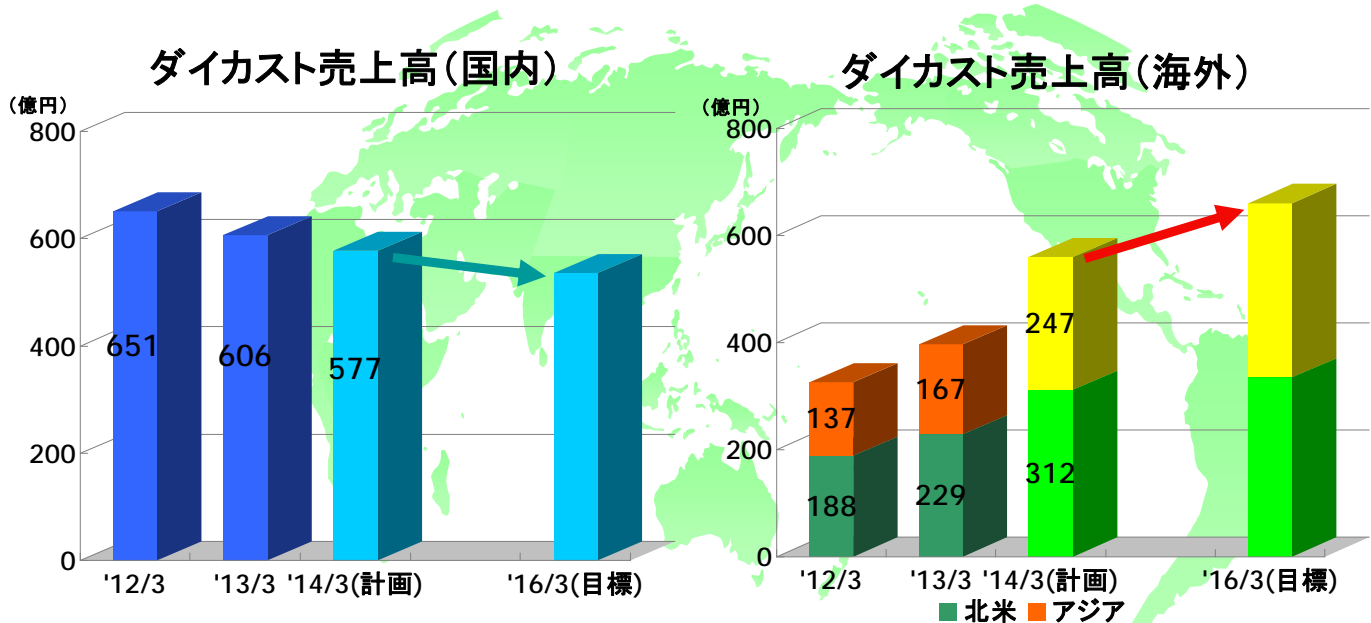
2016年3月期 目標数値



- グローバル需要拡大に対応し、中国・北米を中心とした海外ダイカスト事業を拡大
- 国内需要の縮小を見据えた効率的な生産体制の確立
- ものづくりに焦点を当てた1315中期計画の推進



ダイカスト事業売上高動向

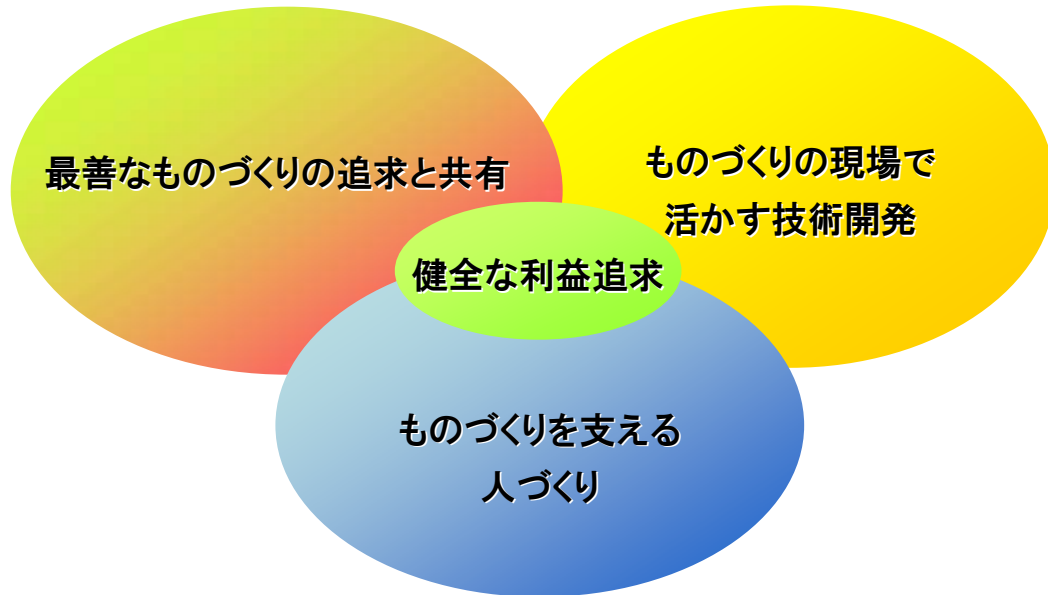


- 日本: 中期的には国内需要は縮小の方向。需要に見合った生産体制として、一定の収益を確保。
- 北米: アメリカの堅調な業績推移を維持しながら需要拡大に対応し、メキシコの生産性を向上させ、投資を抑制しつつ売上を拡大。
- アジア: インド、中国合肥の黒字化を図り、生産性の向上により投資を抑制しつつ、需要拡大に対応。



新10年ビジョン

ダイカストを核としたグローバルTOP企業 「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」



Casting Our Eyes
on the Future

株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-5332-6004

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。